2025年11月30日（日） 一般発表スケジュール

日本知財学会 第23回年次学術研究発表会

	13階 1133教室	13階 1134教室	13階 1135教室	14階 1145教室	14階 1144教室
座長	松岡 守	栗原 佑介	淺見 節子	山内 勇	末宗 達行
	知財人材育成、知財教育	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	バイオ、ライフサイエンス	先端技術、IT、データ利活用	学生発表
10:00	2A1 長 伸明 株式会社リバネス 中高生～大学学部生などの若年層トップ研究者向けの実践的、知財活用方法の教育プログラム	2B1 安田 和史 法政大学 インターネット上の商標の利用にかかる越境使用の問題について	2C1 加藤 浩 日本大学 法学部 日本型パテントリンケージ制度の現状と課題（理論と裁判例） 南藤佳奈、清水紀子	2D1 隅蔵 康一 政策研究大学院大学 データ利活用のための個人情報保護をめぐる課題 小泉周	2E1 田中 城士 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 日本酒分類の地理的表示制度における狭域指定の事例研究 −兵庫県内GIをモデルとした地域相関関係の強化について− 茂木祐輔、松井章浩
10:20	2A2 芳賀 高洋 岐阜聖徳学園大学 初等中等教育関係者の著作権知識、経験、意識に関する研究 林一真、有山裕美子、小熊良一、糟谷咲子、小崎誠二	2B2 宗助 智左子 日本弁理士会商標委員会 商標と生成AI	2C2 南藤 佳奈 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業 日本型パテントリンケージ制度の現状と課題（実務・運用の最前線） 加藤浩、清水紀子	2D2 山根 崇邦 同志社大学 欧州データ法の挑戦——IoTデータアクセスにおける制度介入の意義と課題	2E2 燕 泓雨 中央大学商学研究科 CEOの社会的つながりが企業のリスクテイクに与える影響：政治的つながりは増幅効果があるのか？ 西村陽一郎
10:40	2A3 渥美 勇輝 鈴鹿市立天栄中学校 中学校技術・家庭科における地域団体商標と伝統食材を題材とした授業実践の検証 世良清、原直子、幸田恵美	2B3 森廣 亮太 日本弁理士会意匠委員会 食品・画像意匠の登録事例の分析	2C3 志村 将 日本弁理士会 バイオ・ライフサイエンス委員会 バイオ後続品に対する参入防壁として機能するバイオ医薬品特許保護の事例と課題 石埜正穂、駒谷剛志、前田直、丸山修、宮澤優子、吉田尚美	2D3（インテンシブ） 駒谷 剛志 慶應義塾大学 研究データ保護と知的財産法:日米欧制度比較からみる投資回収とインセンティブの構造	2E3 上田 拓真 名古屋工業大学大学院 特許情報によるセメント系材料とその周辺材料による二酸化炭素排出量削減に係る技術開発動向の調査 伊藤洋介
11:00	2A4 満丸 浩 第一工科大学 工業高校の知財学習を支援している事業に関する研究	2B4 小川 徹 株式会社JMDC ファッションローと特許	2C4 曽我 諒 日本大学法学部 国際知的財産研究所 手術室の内装の意匠登録は医療に影響しうるのか		2E4 米倉 功大 神戸大学大学院経済学研究科 Multinational R&D and Innovation under the COVID-19 Mobility Shock: Evidence from Japanese Firms 中村健太
休憩					

2025年11月30日（日） 一般発表スケジュール

日本知財学会 第23回年次学術研究発表会

	13階 1133教室	13階 1134教室	13階 1135教室	14階 1145教室	14階 1144教室
座長	木村 友久	安田 和史	加藤 浩	乾 利之	鈴木 公明
	知財人材育成、知財教育	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	バイオ、ライフサイエンス	知財経営	学生発表
11:30	2A5 杉浦 淳 大阪工業大学 大学院知的財産研究科 AI&DATA利用の進展に伴う知的財産教育のスコープについて	2B5 栗原 佑介 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 査読制度と著作権―査読プロセスにおける生成AI利用の法的問題を中心に	2C5 鈴木 睦昭 国立遺伝学研究所 糖鎖科学分野におけるベンチャー・スタートアップのビジネスモデル分析	2D5 中村 隆之 金沢工業大学大学院 成熟期市場における技術のコモディティ化回避のための事業戦略に関する事例研究 加藤浩一郎	2E5 寺中 睦稀 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 AI技術を活用した知的財産マネジメントの現状と将来の展望 -企業経営における戦略的活用事例の分析を通じて- 内藤浩樹
11:50	2A6 木村 真二 山口大学 知的財産センター 「知的財産かるた」を活用した知財教育の実践事例と今後の展開 生田容景、陳内秀樹、KuchkorovMIRSHOD、小川明子	2B6（インテンシブ） 星野 豊 筑波大学人文社会系 AIによる論文盗用技術とその検証方法	2C6 人見 一寛 金沢工業大学大学院 細胞医薬品の特許動向と出願戦略―再生医療分野スタートアップにおける特許戦略構築を目指して― 高橋真木子	2D6 野崎 篤志 株式会社イーパテント 知財戦略と経営理論・各種戦略との関係性の体系的整理	2E6 原 一颯 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 生成AIに関する出願動向と消費電力の削減技術に関する調査研究 村川一雄
12:10	2A7 陳内 秀樹 山口大学 知的財産センター 知財創造教育地域コンソーシアム（中国地域）における高校・大学・企業が連携した活動事例～知財創造実践甲子園を中心として～ 木村真二、小川明子、KuchkorovMIRSHOD、生田容景		2C7（インテンシブ） 鈴木 睦昭 国立遺伝学研究所 遺伝資源とデジタル配列情報に関する名古屋議定書とカリ基金に関する議論と今後の方向性	2D7 佐々木 健一 日本弁理士会知財プレゼンス向上委員会 アカデミアにおける知財・無形資産ガバナンスの関する一考察 ～大学ガバナンスコードの改訂提案～ 泉谷謙二郎、植田晋一、大島忠宏、北野利一、熊崎陽一、澤田孝之、留場恒光、永井隆、西村公芳、森哲也	2E7 寺田 凌大 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 AI関連発明におけるAI創作者に注目した発明者認定のあり方について 杉浦淳
12:30	2A8 松岡 守 三重大学 ものづくり・情報教育の今後の展開に合わせた知財教育の再構築			2D8 竹尾 一成 特定非営利活動法人産学連携推進機構 特任研究員 アライアンスとライセンス ～企業間協働と知財活動の関係を俯瞰的に整理する～ 妹尾堅一郎、村松竜弥	2E8 冨永 将貴 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 AIによる創作機能の向上に伴う著作物利用の判断基準の明確化について 杉浦淳
休憩					

2025年11月30日（日） 一般発表スケジュール

日本知財学会 第23回年次学術研究発表会

	13階 1133教室	13階 1134教室	13階 1135教室	14階 1145教室	14階 1144教室
座長	渥美 勇輝	金子 敏哉	今村 哲也	野崎 篤志	安田 和史
	知財人材育成、知財教育	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	知財制度、国際化に関する課題	知財経営	学生発表
13:00	2A9 村上 画里 東京造形大学 美大における知財科目必修化		2C9 鍾 亦琳 萬國專利商標事務所 台湾における数値限定発明の修正実務と『公然実施』抗弁の課題 － 日本実務との比較を通じて	2D9 乾 利之 IPNJ国際特許事務所 AIエージェントの経営課題解決への利用に関する調査分析～AIエージェントを利用したビジネス関連発明の分析～	
13:20	2A10 北川 創 大阪工業大学 大学学部生を対象としたゼミにおける知財教育の実践報告 杉浦淳、望月孝洋	2B10 村上 裕之 日本国際映画著作権協会 映画撮影スタジオと地域経済振興	2C10（インテンシブ） 関 真也 関真也法律事務所 人間拡張と知的財産～技能・感覚のデジタルコンテンツ化～	2D10 衣笠 健太郎 個人 AIエージェントによる特許分析とユースケース 杉澤宏樹	
13:40	2A11 世良 清 名古屋文理大学 名古屋文理大学健康情報学研究科における「知的財産権と研究倫理」の展開と展望	2B11 阿部 仁 IPクリエイティブオフィス アバターを活用したオンライン教育コンテンツの知的財産保護に関する考察		2D11 平野 愛実 ローム株式会社 大規模言語モデルを活用した特許データの階層的分類項目自動生成と自動分類手法 安田雅浩	2E11 鄭 茹方 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 著作権法における「情報解析規定」について 杉浦淳
14:00	2A12 野呂 高樹 公益財団法人未来工学研究所 潜在的知財ユーザーをいかにして掘り起こすか ― 中小企業・大学研究者のエンゲージメントを高める多層的アウトリーチ手法に関する一考察 ―	2B12 石井 美緒 日本大学 職務著作の公表名義要件に関する序論的考察	2C12 竹内 誠也 山口大学大学院 技術経営研究科 『スマホ競争促進法』指針における知財権利行使の反競争性再論 － 独禁法第21条等解釈整合と法政策学的検証 －	2D12 河野 誠也 京都工芸繊維大学 大規模言語モデルを用いた先行技術調査における検索論理式生成と評価:検索報告書の自動作成タスクを事例として 丸崎恒司、吉野幸一郎、野中尋史	2E12 堀井 大暉 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 著作権法におけるAI生成物の創作性判断 大塚理彦
休憩					

	13階　1133教室	13階　1134教室	13階　1135教室	14階　1145教室	14階　1144教室
座長	野呂 高樹	内田　剛	加藤　浩一郎	長根（斎藤）裕美	隅蔵　康一
	知財人材育成、知財教育	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	知財制度、国際化に関する課題	知財経営	学生発表
14:30	2A13（インテンシブ） 妹尾 堅一郎 特定非営利活動法人 産学連携推進機構 知財マネジメントにおける「保護・権利化」と「活用」とは何か? ～「知的創造サイクル」を再考する～	2B13 杉原 陽一郎 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 著作権と応用美術の保護	2C13 村川 一雄 大阪工業大学 標準規格への保有特許技術の導入効果に関する一考察	2D13 川上 成年 株式会社知財デザイン 生成AIを活用した特許データ解析による事業機会探索手法の構築 — mRNA医薬を対象としたケーススタディ —	2E13 竹村 和真 大阪工業大学　大学院　知的財産研究科 特許データで読み解くスマートスタジアムの進化：体験価値向上のデジタル技術とサステナビリティの課題 小林誠
14:50		2B14 稲葉 幸治 金沢工業大学KIT虎ノ門大学院 プラットフォーム事業者責任と著作権間接侵害の法理—日米判例比較とストリーミング時代の展望—	2C14 吉川 里奈 日本大学大学院 FRAND義務の持続可能性に関する比較研究	2D14 開本 亮 大阪工業大学 Ai分類計算による組織対組織の産学連携への試み	2E14 上村 奈央 京都大学 医学研究科 大学医薬品関連特許の質に関する日米比較 早乙女周子
15:10	2A15 三品 岩男 合同会社知財開発研究所 生成AI利用による「“発明”開発」人財育成の方法論 妹尾堅一郎、金間大介、横田俊一、中村正之、横山貞彦、大橋亜沙美、小見崇之、林直哉、齊藤鷹規、竹尾一成、村松竜弥	2B15 浅野 卓 高崎健康福祉大学 農学部 原産地呼称・地理的表示の普通名称化　—普通名称化のパターン化と、GIの普通名称化の可否・判断基準の検討—	2C15 谷治 和文 成城大学 ASEAN諸国における知的財産制度の国の発展への影響の研究	2D15 板東 嘉彦 板東技術士事務所 特許から考える失敗しない研究開発	2E15 林 双葉 大阪工業大学　大学院　知的財産研究科 ゲーム機器市場における企業の生存要因と知的財産 村川一雄
	ビジネスモデル、SDGs				
15:30	2A16 赤間 愛理 宮城学院女子大学 地域メディアの新市場進出におけるビジネスモデル革新と戦略的柔軟性の検証—仙台オクトーバーフェストを事例とした地域イベント事業の持続的価値創造メカニズムの解明—		2C16 伊神 裕人 東京大学大学院農学生命科学研究科 気候変動訴訟の国際動向とその知財・種苗をめぐる調整課題	2D16 新里 拓巳 東京パワーテクノロジー株式会社 公益企業における知的財産を用いた事業戦略に関する一考察 加藤浩一郎	
休憩					

	13階 1133教室	13階 1134教室	13階 1135教室	14階 1145教室	14階 1144教室
座長	杉光 一成			今村 哲也	
	ビジネスモデル、SDGs			知財経営	
16:00	2A17 萩原 剛志 サステナ知的資産戦略特許事務所 サステナビリティ、人的資本及び知的資産の統合的な理解に向けて			2D17 平峯 佑志 一般社団法人東京スポーツクロスラボ 日本におけるスポーツ中央競技団体の知的財産管理の現状調査	
16:20	2A18 幡鎌 博 合同会社デジタル・ビジネスモデル研究所 仲介型プラットフォームのビジネス関連発明の分析によるビジネスモデル発想方法の考察			2D18 坪井 央樹 知的財産管理技能士会研究会 IT開発における知財概念の欠落実態分析と対処事例	
16:40	2A19 妹尾 堅一郎 特定非営利活動法人 産学連携推進機構 農業ビジネスに見る価値形成と知財マネジメント～単体価値形成から複合的・統合的価値形成へ～ 八神実優				
17:00					